

平成29年度事業別評価調書（チェックリスト）

整理番号	202	事業名	森林管理道整備事業	補助 単独	地区名 (事業箇所名)	戸渡藤沼線	関係 市町村名	須賀川市	担当部(局) 課名	農林水産部 森林整備課														
評価の対象となる理由	第1項第4号：評価実施から5年を経過し継続中の事業 第1項第5号：計画変更を行うおとする事業				前回(平成24年度)評価時の対応方針	委員からの提言： 事業継続 付帯意見： なし			県の対応方針： 事業継続															
事業根拠法・要綱等の名称	森林法第5条、同法第193条																							
事業の概要	[事業目的及び全体計画] (注)く)は前回(平成24年度)評価時、[]は事業採択(平成14年度)時 (1) 事業目的 当林道は須賀川市の北西に位置し、造林、保育及び木材生産等の森林施業のための骨格的な林道である。当林道の開設の目的は、森林施業の効率化による木材生産性の向上及び適正な森林施業により重要な水源林が含まれる森林の水土保全等多面的機能の高度発揮に資することを目的としている。																							
	(2) 全体計画 [8, 175] <8, 670> 幅員 W=4.0(5.0)m 延長 L=8,670m 起点 須賀川市長沼地内 終点 須賀川市勢至堂地内																							
	事業の採択年度	H14	完成目標年度	[H26] <H26> H33	用地着手年度	-	工事着手年度	H14																
	事業費(百万円)	全体事業費 (うち用地費) [1,390] <1,425> 1,995 ()	これまでの投資事業費合計 1,490 ()	左の財源内訳又は負担割合 国 45.0% 県 27.5% 市町村 27.5*69% その他 27.5*31%	これまでの年度別投資実績(29年度は見込額である)																			
				～26年度	27年度	28年度	29年度																	
				1,378 ()	59 ()	53 ()	120 ()																	
進捗率	事業費ベース	74.7%	用地費ベース	-	%	その他(整備延長)	67.1%																	
事業の進捗状況	[整備の状況] 整備延長 5,819m(67.1%)(平成28年度末) なお、舗装未実施区間を含む路体整備済み延長は7,418m(85.6%)																							
	[事業実施上の課題や問題点、今後の事業見通し] 当該路線は法面の硬さ等状況に応じた緑化資材の厚みの変更、流用土の運搬場所の変更、融雪や長雨の影響による崩落等により、事業費が増大した。また、作業員の不足に伴う入札不調や、震災による藤沼湖の決壊に伴う林道災害復旧工事と開設工事のアクセス道が共用されたことで、単年度の事業規模が制限を受けたこと等により、事業期間の延期が見込まれる。しかし、路体整備残延長が1,252mであることから、長沼地区と勢至堂地区を結ぶ林道としての効果を発揮するため、全線開通に向け事業の進捗を図る。																							
	みなし執行額=全体事業費/全工期×経過年数=1,995百万円/20年×15年=1,496百万円 みなし進捗率=これまでの投資事業費計/みなし執行額=1,490百万円/1,496百万円=0.996(99.6%)(70%≦)																							
	[関連事業の進捗状況] 特になし																							
				評価	A、	B、	C																	
[事業に関する社会経済情勢](特記すべき事項) (1) 現在の状況 近年、国産材の供給量は増加傾向、木材輸入量は減少傾向にあることから、木材自給率は上昇傾向で推移してきている。今後、さらに豊富な森林資源を積極的に利用していく上で、森林施業の低コスト化が必要とされており、施業の機械化、運搬車両の大形化が可能となる林内の路網整備が急務とされている。林道を幹線として、その沿線に集材や運材を目的とした森林作業道を高密度に配置することで、低コスト施業に資する林内路網が構築される。																								
(2) 変化の有無 有・無 (3) 変化の内容 - (4) 地域の協力体制等 開設に対する地域の要望は強く、須賀川市も工事の施工に必要な費用負担に協力的である。																								
[事業に関連する評価指標等] (1) 主要な評価指標の変化																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事項</th> <th>事業採択時(H2)</th> <th>前回評価時(H24)</th> <th>今回評価時(H29)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用区域面積(ha)(注1)</td> <td>672</td> <td>672</td> <td>672</td> <td>採択要件 50ha以上</td> </tr> <tr> <td>開設効果指数(注2)</td> <td>2.16</td> <td>3.83</td> <td>4.04</td> <td>採択要件 0.9以上</td> </tr> </tbody> </table>										事項	事業採択時(H2)	前回評価時(H24)	今回評価時(H29)	備考	利用区域面積(ha)(注1)	672	672	672	採択要件 50ha以上	開設効果指数(注2)	2.16	3.83	4.04	採択要件 0.9以上
事項	事業採択時(H2)	前回評価時(H24)	今回評価時(H29)	備考																				
利用区域面積(ha)(注1)	672	672	672	採択要件 50ha以上																				
開設効果指数(注2)	2.16	3.83	4.04	採択要件 0.9以上																				
(注1) 利用区域面積とは林道を利用して造林、保育、伐採等の森林施業を行うことが可能な区域。 (注2) 開設効果指数とは林道開設に必要な森林資源を有しているかを数値化したもの(森林の蓄積が大きいほど、造林・保育予定面積が大きいほど高くなる)。																								
(2) その他特記すべき事項 特になし																								
[環境への影響等] 希少野生動植物の情報に基づく対応 <input checked="" type="checkbox"/> 実施・ <input type="checkbox"/> 未実施																								
(1) 環境への影響内容とその対策 全体計画調査では、林道周辺において、配慮すべき希少な動植物は確認されておらず、レッドデータブックふくしまの情報検索においても該当はない。 路線の線形については、環境に配慮し、地形の改変を最小限とするため、地形に合わせた平面線形、縦断線形を基本としている。また、木材を使用した工種の採用、再生材の積極的な使用など、再生可能な資源や建設副産物のリサイクルを実施している。																								
(2) その他特記すべき事項 特になし																								
				評価	A、	B、	C																	

平成29年度事業別評価調書（チェックリスト）

地元住民・受益対象者及び関係機関の意向	<p>【地元住民・受益対象者の意向】</p> <p>(1) 事業採択時の状況 森林所有者より、施業地へのアクセス時間短縮や伐採木の搬出などにおける効率的な林業経営を実現するため、また、地元住民より国道294号の緊急時の迂回路としての機能を確保するために林道の開設が強く要望された。</p> <p>(2) 評価実施時の状況 事業採択時と同様に施業地へのアクセス時間短縮や伐採木の搬出などにおける効率的な林業経営を実現するために林道の開設が要望されている。</p> <p>【関係機関・団体の意向】</p> <p>(1) 事業採択時の状況 森林施業が立ち後れている広範囲な森林資源の利活用が促進されるほか、国道294号の緊急時の迂回路として、また、隣接する観光地である高土山へのアクセス道としても期待されたことから、須賀川市（旧長沼町）より林道開設の強い要望があった。</p> <p>(2) 評価実施時の状況 事業採択時と同様に須賀川市から林道開設事業の実施が要望されている。 (直近の要望日：平成28年6月1日)</p>	計画変更の必要性・コスト縮減や代替案立案等の可能性	<p>【計画変更の必要性】</p> <p>(1) 必要性の有無 <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無</p> <p>(2) 計画変更の理由及び内容 法面の硬さ等状況に応じた緑化資材の厚みの変更、流用土の運搬場所の変更、融雪や長雨による林道法面の崩落等により事業費が30%以上増となる。</p> <p>【代替案立案の可能性】 本路線は森林資源の活用を促進する路網の骨格となる路線であり、効率的な森林整備を行うために地形に合わせた線形が選択されており、代替案は考えられない。</p> <p>【コスト縮減の取組等（特記すべき事項）】 地形に合わせた線形にすることで、土工量を縮減し、長大な法面やコンクリート構造物を最小限にするよう努めている。また、再生材を積極的に使用するなどコスト縮減に努めている。</p>						
	<table border="1" style="display:inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px 5px;">評価</td> <td style="text-align:center; padding: 2px 5px;"><input checked="" type="radio"/> A、</td> <td style="padding: 2px 5px;">B、</td> <td style="padding: 2px 5px;">C</td> </tr> </table>	評価	<input checked="" type="radio"/> A、	B、	C	<table border="1" style="display:inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px 5px;">評価</td> <td style="text-align:center; padding: 2px 5px;">A、</td> <td style="text-align:center; padding: 2px 5px;"><input checked="" type="radio"/> B、</td> <td style="padding: 2px 5px;">C</td> </tr> </table>	評価	A、	<input checked="" type="radio"/> B、
評価	<input checked="" type="radio"/> A、	B、	C						
評価	A、	<input checked="" type="radio"/> B、	C						
費用対効果分析等の要因の変化	<p>【費用対効果分析等】</p> <p>(1) 手法 林野公共事業における事前評価マニュアルに基づく (林野公共事業における事前評価の手法について H14. 3. 26付け13林整計第541号H14. 3. 26[最終改正H28. 5. 23])</p> <p>(2) 費用対効果の変化 [前回評価（平成24年度）時] [今回分析]</p> <p style="text-align:center;"> $B/C = \frac{3,525 \text{ 百万円}}{3,127 \text{ 百万円}} = 1.13$ $B/C = \frac{4,984 \text{ 百万円}}{4,497 \text{ 百万円}} = 1.11$ </p> <p>【費用の変化等で特記すべき事項】 算出の根拠となる事業費が増加したことにより費用が増となった。</p> <p>【需要効果の変化等で特記すべき事項】 国の通達・指導に基づく費用対効果分析の計算手法の変更による森林整備経費縮減便益の増加。</p>	総合評価	<p>【総合評価と対応方針案】</p> <p>(1) 総合評価</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>林道が開設されることで利用区域内の造林、保育、伐採等の森林施業地へのアクセス時間が短縮され、伐採木の搬出など効率的な森林施業が推進されるとともに、地元より早期完成の要望もあることから継続して実施する必要がある。</p> </div> <p>(2) 対応方針及び今後の事業の進め方</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tr> <td style="width:20%; padding: 5px;">対応方針案</td> <td style="padding: 5px;">見直し継続</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">今後の事業の進め方</td> <td style="padding: 5px;">コスト縮減を図りながら事業を実施するとともに、早期の完成を目指す。</td> </tr> </table> <p>(3) 事業見直し継続、休止、中止する場合の対応</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>見直し内容に基づき、平成33年度完成に向けて計画的に事業の進捗を図る。</p> </div>	対応方針案	見直し継続	今後の事業の進め方	コスト縮減を図りながら事業を実施するとともに、早期の完成を目指す。		
	対応方針案	見直し継続							
今後の事業の進め方	コスト縮減を図りながら事業を実施するとともに、早期の完成を目指す。								
<table border="1" style="display:inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px 5px;">評価</td> <td style="text-align:center; padding: 2px 5px;"><input checked="" type="radio"/> A、</td> <td style="padding: 2px 5px;">B、</td> <td style="padding: 2px 5px;">C</td> </tr> </table>	評価	<input checked="" type="radio"/> A、	B、	C					
評価	<input checked="" type="radio"/> A、	B、	C						

戸渡藤沼線位置図

須賀川市

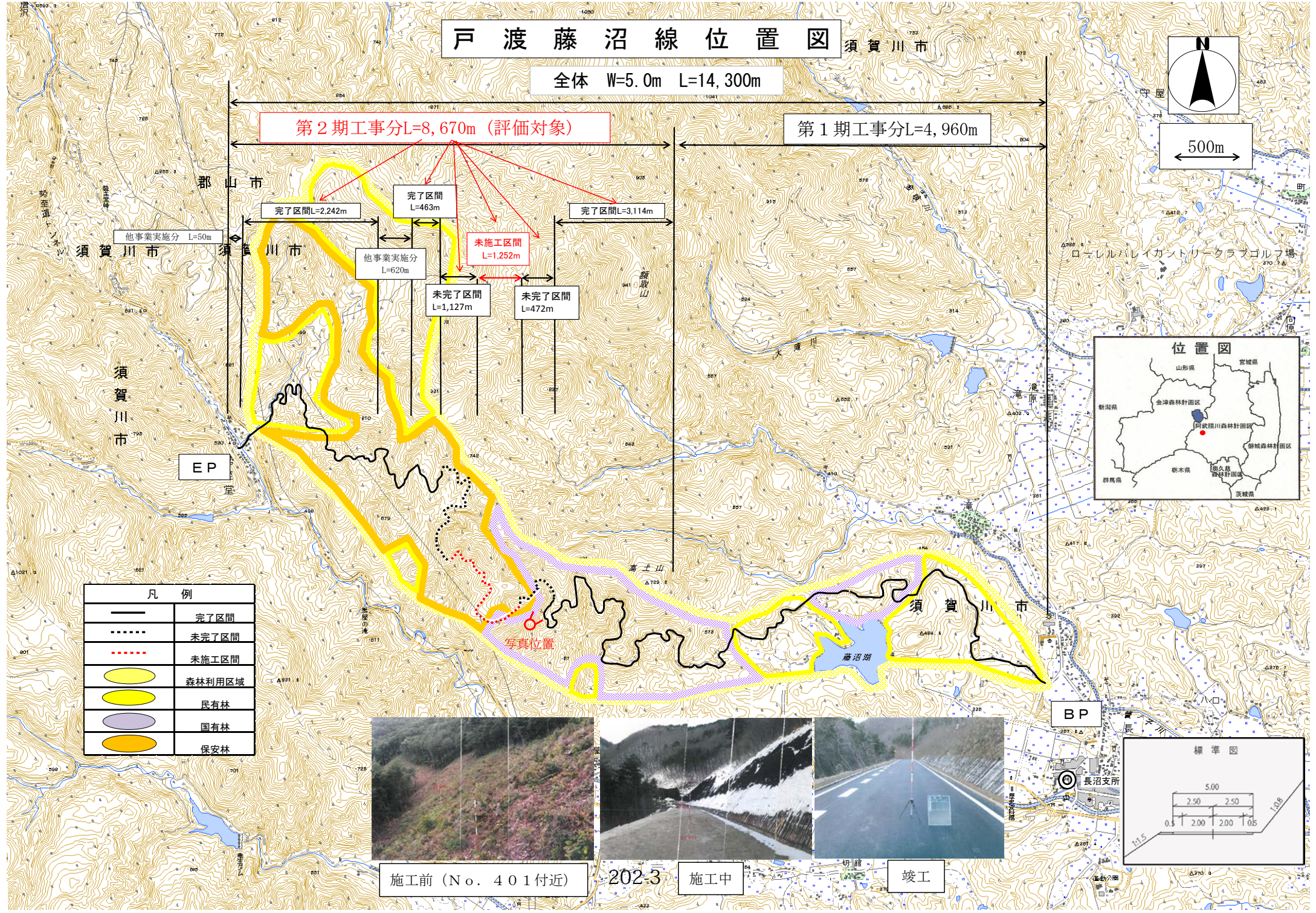
全体 W=5.0m L=14,300m

第2期工事分L=8,670m (評価対象)

第1期工事分L=4,960m



500m



凡 例	
—	完了区間
-----	未完了区間
- - - - -	未施工区間
○ (yellow)	森林利用区域
○ (light yellow)	民有林
○ (purple)	国有林
○ (orange)	保安林



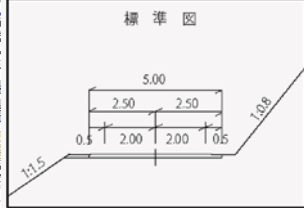
施工前 (No. 401付近)



202-3 施工中



竣工



BP

長沼支所

(別紙)

費用対効果分析

森林管理道整備事業 戸渡藤沼線

$$\frac{\text{効果(便益) B}}{\text{費用 C}} = \frac{B① + B② + B③}{C① + C② + C③}$$

[費用項目]

- C①：当該路線の工事期間中の事業費
- C②：当該路線の評価期間内に要する維持管理費
 - ・現在の須賀川市管理の林道の実績平均値
- C③：当該路線利用区域内の評価期間内に要する森林整備費用

[効果項目]

- B①：木材生産等効果（木材生産の確保・増進を評価）
 - ・林道の整備により、木材生産地点からの搬出・運搬経費が縮減され、主間伐材の生産量が増加する効果
- B②：森林整備経費縮減等効果（森林整備の促進を評価）
 - ・林道の整備により、利用区域内の森林整備が促進され、森林の有する「災害を防止する機能」「水を確保する機能」「炭素を固定する機能」等の多面的機能を向上させる効果。
- B③：その他の効果（ボランティア誘発の効果）
 - ・地域住民による林道沿線の草刈り、側溝清掃等のボランティア活動により、当該路線の維持管理経費が縮減される効果

[考え方]

事業採択年度を基準年度として工事期間と完成後40年間に生ずる効果額、費用額を算出し比較する。

計算例

$$\frac{578,082 + 4,330,834 + 75,007}{4,475,092 + 15,005 + 7,030} = \frac{4,983,923}{4,497,127} = 1.11$$